

第一回検討委員会及び事後の意見提出における主なご指摘事項と対応の方向性について

【ソフト面の強化策】

	主なご指摘事項	対応の方向性
1	・センターを就職マッチングの場として位置づけるべき (ex. 企業が人材獲得の機会を得る代わりに学生の研修費用を一部負担。労働者と学生の研修を一緒にやりながら企業・学生をマッチング。等)	・高校生、専門学校生等に対しては、これまでのような建設業への理解促進にとどまらず、定期的な実務実習の実施、求人企業とのマッチングの場の提供等についても、高校や専門学校、業界団体等の関係者と連携しながら検討を進める。
2	・工業高校生のみならず、普通高校の生徒も含めて、建設業に対する理解促進の場にすべき。	・これまでの都道府県協会からの受託による専門高校生に対する実務実習に加え、「若年者に魅力ある職場づくり支援事業」(厚生労働省)を活用し、センター独自の普通高校生を含めて対象とした実務実習等の実施についても検討する。
3	・ゼネコン、各専門工事業者といった異業種が交流して何かを作り上げる仕組みができないか。	・業界団体等に相談しながら、ご指摘のようなニーズがあれば積極的に対応することを検討したい。
4	・富士宮市の施設(公園等)に係る工事を実習生に見せたり、実際の実習の場として活用したりすることができないか。	・富士宮市等の地元市町村と相談し、可能であれば実施していきたい。
5	・維持管理や社会資本長寿命化に資する行政職員の研修を実施できないか。	・維持管理や社会資本長寿命化の観点から、老朽化した構築物の診断等に関する訓練の導入について検討する。
6	・例えば一週間で建物一軒を建築するというような研修ができないか。	・土木コースでは一定期間で構造物を施工するコースもあることから、建築コースにおいても実施していけないか検討を進める。
7	・センターで訓練を受けた後も含めた人的なつながりの強化を図るべき。	・スマートフォンに対応したコミュニティサイト等人的なつながりの強化に資する取組みの検討を進める。
8	・カリキュラムが総花的になって、必要な教育に重点を置けていないということはないか。	・業界のニーズに対応したカリキュラム構築を行っており、必要に応じてカリキュラムのブラッシュアップを行っているが、今後ともユーザーである団体・企業や訓練生からの生の声も参考にしながら改善を進める。

【ハード面の強化策】

	主なご指摘事項	対応の方向性
1	<ul style="list-style-type: none"> ・居室を個室にすべきか、共同部屋にすべきか。 ・受講者同士が仲良くなれる施設づくりをすべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・受講者がコミュニケーションを深められる環境を整備することを前提に、今後施設整備の詳細を検討する。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・適切なインターネット環境を整備すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資金的に可能な範囲内で適切なインターネット環境を整備する方向で検討を進める。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・センター（の一部）が研修生たちの手で徐々に改修されていくような仕掛け（日本版ガウディ）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでも、リフォームやリニューアルを兼ねて施工実習を行ってきたところ。 ・今後も各種法規制の制約はあるが、可能な限り訓練生の手でリフォームやリニューアルが実施できるよう検討する。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産富士山の麓であること、風致地区内にあることを踏まえた景観への配慮が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘を踏まえた施設整備を検討する。

【他の訓練施設との関係、富士教育訓練センターの位置づけの整理】

	主なご指摘事項	対応の方向性
1	<ul style="list-style-type: none"> ・認定職業訓練施設の全体像（施設、訓練内容等）を把握し、センターとの関係を整理すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料4参照 ・国土交通省や（一社）建設産業専門団体連合会において検討中の全国の職業訓練施設に関する調査結果等を踏まえ、整理を進める。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・センターの訓練の総括（カリキュラム、稼働率、受講者の満足度等）をしっかりとすべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料3参照
3	<ul style="list-style-type: none"> ・三田建設技能研修センターとの連携を図るべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・両施設の連携に関する協定を締結する方向で検討を進める。